

第3章 構想がめざすもの

1 基本理念 「いつでもどこでもだれでも楽しく学び、いきいき生きる、とやまの創造」

この構想は、県民一人ひとりがいつでもどこでも楽しく学ぶことができ、その成果を生かして社会の中で自己実現を図ることにより、心豊かにより善く生きるとともに、ふれあい豊かで活力ある社会を創造することをめざすものです。

2 基本目標

(1)生涯を通じた学習機会・学習の場の充実

あらゆるライフステージで、県民の多様な学習ニーズに対応していくには、家庭、学校、地域社会が有する教育・学習機能を、生涯学習という視点から従来の機能区分にとらわれず総合的に見直すとともに、緊密な連携によってそれらの活性化を図っていく必要があります。

また、学習活動に参加する意欲や条件を備えている人だけでなく、学習したいと思っけてもきっかけがつかめない人、高齢者、障害者、子育てや介護のために学習に参加しにくい人など、すべての人が学ぶことができるような条件の整備が求められています。

特に、高齢者、障害者などが安心して学習できる在宅での学習機会、社会人が必要に応じて自己の再開発ができる大学等におけるリカレント教育や職業能力開発施設における能力開発、自由時間の創造的な活用に応える民間教育事業者による多様な学習機会など、様々な学習形態及びレベルに応じた学習の場の整備・充実が求められています。

これらの活性化や充実、相互のネットワーク化等により、すべての県民があらゆるライフステージで、それぞれの目的、ニーズに応じて、自由に学習の機会や場を選択して学ぶことができるような生涯学習体系の確立をめざします。

(2)多様なライフスタイルを確立する学習活動の展開

高齢化や個人優先のライフスタイルが進行する中で、すべての人が長い人生を自ら設計し、実践していくために、心の豊かさやゆとりを求めるための学習や、健康でいきいきとした生活を送るための学習が様々な場所で様々な人を対象として展開されることが求められています。

また、変化の激しい現代社会を生きていくため、一人ひとりが自ら主体的に考え、選択し、行動する力を身に付けていくことができるよう、幅広いテーマや新しい課題についての学習機会の提供・充実が求められています。

さらに、社会経験や学習によって身に付いた知識や技能を生かしたボランティア活動やまちづくり活動等に地域社会の期待が寄せられており、実際に様々な活動が展開されつつあります。これら県民の学習ニーズに応じた多様な学習活動の積極的な展開を支援することにより、生涯学習を通じた県民の多様なライフスタイルの確立をめざします。

(3)学習支援ネットワークの充実

県民の学習活動を支援するため、総合的な生涯学習情報の提供及び学習相談体制の整備、指導者養成の充実、学習成果の社会的な評価方法の構築などが求められています。

また、県内のどの地域においても等しく学習でき、豊かな学習交流ができるよう、多層的な学習圏と、県、市町村、初等・中等教育機関、高専・大学等高等教育機関、民間教育事業者、民間団体・グループ等の連携による学習支援ネットワークの充実が求められています。

これら生涯学習に対する支援ネットワークの体制を整備充実することにより、本県生涯学習のステップアップを図る学習基盤の確立をめざします。

3 体系図

